

青刈用ソルガム奨励品種「ブラウトウミツソルゴー」

草地飼料部 草地飼料チーム TEL:0229-72-3101

研究の目的

飼料作物であるソルガムは、稈が長く草丈は2m程度になりますが、ローラーによる収穫体系に適合し、家畜の嗜好性にも優れ、トウモロコシに次ぐ可消化養分総量（TDN）を得られます。そこで、宮城県の環境に適した青刈用のソルガム品種を選定しました。

研究成果

平成24年から27年の4年間、宮城県畜産試験場において市販のソルガム6品種の栽培調査を行いました。そのうちブラウトウミツソルゴーは、収穫時草丈等の生育特性や耐倒伏性は標準品種スタックスと同等でした。一方、乾物収量はわずかに劣りましたが、TDN含量は11.2%高くなりました。ブラウトウミツソルゴーは、高消化性遺伝子BMR（ブラウンミドリブ）を持つことで難消化性のリグニン含量が少ないBMR品種であることから、他品種よりもTDN収量が高いと考えられました。

以上から、本品種の優位性が確認されたため、ブラウトウミツソルゴーを宮城県の飼料作物奨励品種としました。

表 ブラウトウミツソルゴーの生育特性および収量

品 種 名	1 番草収穫時		1 番草・2 番草の合計	
	草丈 (cm)	倒伏程度	乾物収量 (kg/10a)	TDN含量 (%)
ブラウトウミツソルゴー	229	2.4	1,771	70.8
スタックス	221	3.9	1,816	59.6

※値は平成24から27年の4ヵ年の平均。
倒伏程度は「1:無」～「9:甚」の達観評価による。



写真 ブラウトウミツソルゴーの草姿(タキイ種苗提供)

利活用の留意点等

ブラウトウミツソルゴーは早生品種であり、5月中旬から7月中旬が播種適期です。播種量は散播では3～4kg/10a、条播種では2～3kg/10aが目安です。5月下旬に播種した場合、8月中旬の糊熟期に1番草を収穫することで、10月下旬に2番草の刈り取りが可能となります。

より詳しい内容は「普及に移す技術」

第91号(平成28年発行)「青刈用ソルガム奨励品種「ブラウトウミツソルゴー」をご覧ください。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/91hukyuuigijutsu8.html



宮城県農業系三場所